

モリメイト通信

本気で遊ぼう！モリメイト

5月9日(土曜日) 花菖蒲園と周辺の整備

【参加者:、池本、越智、梶川、川端、木谷、芝田、鈴木哲、鈴木明、風呂矢、森浜学、森浜牧、山西 計12名】



朴の花がそろそろ咲くのではと、作業前にちょっと寄り道をして観察広場へ見に行くと、大きな葉に守られるように真白な朴の蕾が咲く準備をしていた。

若葉も力強い緑色に変わり、モリメイトフィールドの花菖蒲はぐんと成長し30cmぐらいになっていた。と同時に草の伸びる速さも凄まじい。雑草の逞しさに感心しながらもこれは大変と全員で草引きに取りかかった。12人の人海戦術で左の写真のように花菖蒲園の草をほとんど刈ることができた。

5月14(木曜日) それぞれの場所に分かれて作業

【参加者:池本、越智、梶川、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、風呂矢、森浜牧、山西 計10名】

クヌギの森の木漏れ日の中にシライトソウをみつける

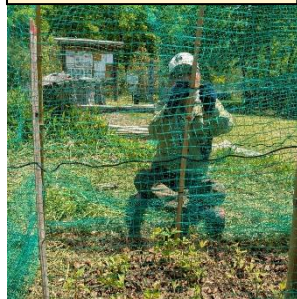


木漏れ日に白糸草の浮き出づる

モリメイトフィールド内の草も勢いを増しどんどん伸びてきたので、刈払機で草を刈っていった。



散策路沿いのフジバカマを鹿から守るために網で囲う作業をした。ここを通った人がアサギマダラに出会ってくれるのはいいかな？



鹿から守るために被せた幼齢木ネットであるが下に落ち葉が溜まってしまう。そこで成長した虫が幹を食べてしまうことがあったのでそれ以降、枯れ葉を取り除くことにしている。網の下の部分を少し破り、手をいれてかき出す作業を行った。



5月28日(木曜日) 間伐する木の選定と モリメイトフィールドの整備

【参加者：池本、越智、梶川、木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、森浜学、山西

計10名】



手入れを続けてきた花菖蒲が咲き始めた。たくさんの蕾をつけているので来週から再来週が見頃になると思われる。

来週の土曜日は、シイタケランドとビートルズベッドの補修用の材を準備する予定である。そこで、杉檜の林に入り間伐する適度な太さの木を探してテープを巻いておいた。

その後、モリメイトフィールド内の整備を行った。それぞれの場所に行き刈払機で草を刈る者とクヌギの木の下を草を鎌で刈り、幼齢木ネットの



下に溜まった枯れ葉を手でかき出す者などに分かれて作業を開始した。暑さと腰の痛みを少しは感じながらも眩しいほどの新緑の中で風を感じながらの作業は心地いいものである。5月でも熱中症の危険はあるので水分補給と休憩はしっかりとするようにした。

午後2時からのモリメイト会議の後、花のテラスのフジバカマ花壇の草引きを行った。



モリメイト会議

◎ 土曜モリメイトについて

「せっかく遠くから来たのでもう少し活動したい」という声があり、午後2時まで活動時間を広げる

◎ ボランティア活動支援事業申請書の検討

モリメイトの里山再生活動を広く県民に体験を通して知ってもらうために、「くぬぎの森づくり」「落ち葉で腐葉土を作ってカブトムシを育てよう」「シイタケの菌打ち体験」の3つのイベントを実施している。この活動は、「国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」の交付金を受けて実施しているので、代表が作成した申請書をみんなで検討した

◎ 事務所から

モリメイトに何かがあった場合の緊急連絡先を事務所に連絡してほしい



シライトソウ(白糸草)

白く長い穂状の花をつける多年草で花期が長く2週間ぐらい咲いている。国営武蔵森林公園ではシライトソウの群生がみられるそうである。モリメイトフィールドのクヌギの森の3株のシライトソウがこの場所が気に入り、年々増えていってくれることを期待しながら見守っていきたい。

